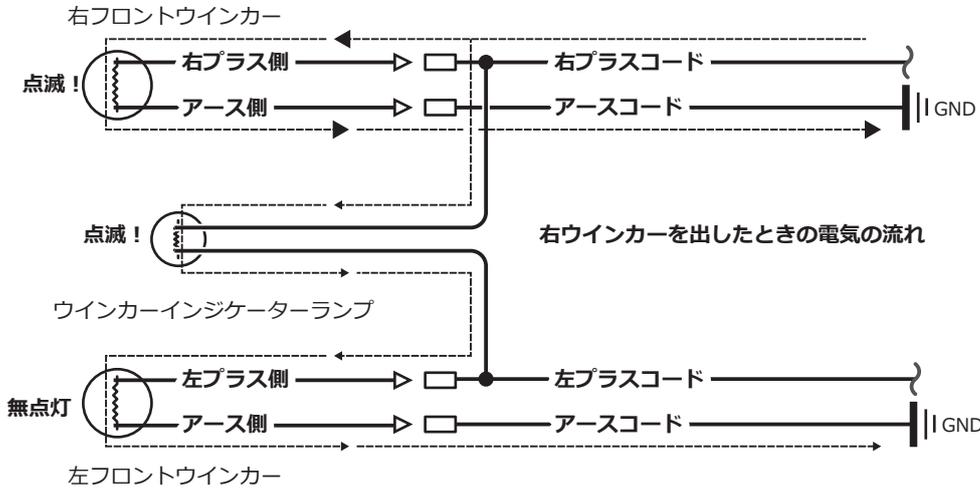


左右のウインカーのプラスコード間をつなくかたちで 1つのウインカーインジケータランプ（白熱電球）を備えているバイクについて

左右のウインカーのプラス間がウインカーインジケータランプ（白熱電球）を介して常につながっているため、ドクターランプを接続するとウインカーを出した時に反対側のウインカーへのポジション電力が悪影響してしまい、ご使用いただけません。

ちなみにノーマル状態で右ウインカーを出した時に左ウインカーが点滅しないのは W 数の小さなウインカーインジケータランプによって電流量が絞られて左ウインカーに流れるためです。

※ウインカーインジケータランプが「無い」、「メーターなどに内蔵の LED バルブ式」、「左右独立しているタイプ」のバイクでは問題ありません。



解決策

ウインカーインジケータバルブを取り外すかが下記の改造を行ってください。

下図のように左右のインジケータコードそれぞれに整流ダイオードを入れ、それを 1本のコードにまとめてインジケータランプの片側に接続。インジケータランプのもう一方のコードをアースに接続。こうすることでポジション点灯用の電力が反対側のウインカーへ影響しないようになります。

改造後、★のところにドクターランプの左右コードを割り込ませてください。

ちなみにこのように改造することで、ウインカーバルブとインジケータバルブを LED バルブに交換することも可能になります。

